



Q：口唇ヘルペスについて教えてください。

A：口唇ヘルペスは単純ヘルペスウイルスが原因で起こります。幼小児期に感染することが多いありふれたウイルスですが、大人になってからの初感染では重症化することがあります。

感染しても必ず症状が現れるとは限らず、こめかみの近くにある三叉神経の神経節に潜伏し、ストレスや疲労によって免疫力が落ちると神経節からウイルスが出てきて増殖を始め、口唇ヘルペスを起こすのです。初めは口唇や口の周りの皮膚の一部が赤く腫れてきて、しばらくするとその

上に小さな水疱ができてきます。症状が現れる前に口唇の違和感などの兆候がみられることがあります。水疱の中にはウイルスがたくさん存在し、水疱が破れた患部に触ると容易に接触感染します。周囲の人につつさないために、症状のある時は唇の患部に触らない、患部を触ったらよく



手を洗う、食器やタオルを共有しない、キスなどは避けるなどの対策が必要です。また、早く症状をおさめるためには、速やかに適切な治療を受けることが大切です。

(岡田俊一・おかだ内科クリニック院長、甲府市北口2-9-12、ニシコー北口駅前ビル2F)

☎0555・2888・1801